



韓国を襲ったマーズ(MERS)

今年も様々な事故や事件に見舞われた韓国。その中でも中東呼吸器症候群、マーズ(MERS)の感染は特に身近に感じた脅威であり、社会に多大な影響を残しました。感染者が出たため閉鎖または一部閉鎖された医療機関は約100箇所に及び、その周辺地域はまるでゴーストタウンのように人通りが消えてしまいました。事の発端はバーレーンに滞在した韓国人男性が韓国に帰国後発熱などの症状があったものの病名が確定せず、複数の病院を転々としたことです。その後、病院の換気設備の問題、隔離体制の不備、政府による対策の遅れなどの問題が重なり、結果的には感染者数186人、死亡者数37人(2015年11月9日現在)となり、マーズ発病国のうち世界2位という不名誉な事態になってしまいました。当時マーズは子どもへの感染率は低いとされていましたが、ソウル近郊に住む小学生から陽性反応が出たと発表されると、わが子への感染を心配する親たちは自主的に幼稚園を休ませたり、学校や塾を閉鎖するよう働きかけたりするなど混乱に陥りました。PM2.5注意報が出された時でも比較的無防備で外出するソウルの街からマスクや消毒薬が一時売り切れ状態になったことから見ても、国民が混乱する様子が容易に想像できるのではないかと思います。

なぜ遠く中東で流行した感染症が韓国でこれほどまでの猛威を振ったのでしょうか。その理由は韓国独自の病院文化にあります。今回の事態はほぼ院内感染であり、それは家族による看病が原因の一つと言われています。韓国では入院すると家族の誰かが付き添



うケースがほとんどであり、入院病棟の病室には患者用のベッドの横に簡易ベッドが備え付けられています。家族による看護が不可能な場合は、雇われた付き添い人が寝泊りをしながら看病しますが、今回実際に感染した人の中には付き添い人も含まれていたようです。また、日本のように病院の面会時間が決められていない場合が多く、家族はもちろん親戚や友人までもが容易に出入りすることができ、外部から食べ物を持ち込んで一緒に食べたり、同室の人におすそ分けをしたりすることもあります。また、入院患者がパジャマ姿や点滴を受けながら病院の外に出て用を済ますこともあるなど、ともすれば暗くなりがちな病棟も、韓国ではかなり騒々しく自由な雰囲気があります。

感染者の隔離は私たちの想像を超える悲しみを生みました。韓国では朝鮮戦争の混乱で南と北とで別れてしまった家族のことを‘離散家族’と言いますが、今回のマーズでも隔離による‘離散家族’の問題が伝えられました。ある感染者は危篤状態に陥りながらも家族と面会できず、家族は看護師らに手紙を託して最後のお別れをしました。感染者の夫は



病院入口の横に別途設けられた検問所



某病院の緊急医療センター

38年間苦勞をかけた妻への感謝とねぎらいの言葉を伝え、息子は天国に旅立つ母親に心の中でずっと一緒にいると伝え、娘はまた生まれ変わってもママの娘になりたいと伝えました。感染者の枕元で代わりに手紙を読んだ看護師らは涙をこらえることができなかつたそうです。

7月末にはマーズの隔離対象者がゼロとなり、韓国政府によって事実上の終息宣言が出されましたが、最後に陰性判定を受けた患者が再び高熱などの症状を見せ、検査の結果、残念ながら陽性の判定が出されたとのニュースが流れました（2015年10月12日付）。陰性から陽性に転換した理由について、専門家は患者の体内に残っていた少量のウィルス遺伝子が検出されたものであり、感染力は非常に低いと判断しています。しかしながら、万一のことを想定して、患者と接触した家族や医療関係者、病院内の患者などが新たに隔離されました。

日本と比べて自然災害の少ない韓国では危機管理意識が非常に低いとされています。俗に言う韓国の‘ケンチャナヨ（大丈夫）精神’は細かいことにはこだわらない、大陸的な大

らかさが感じられる一方、それが裏目に出ると大惨事につながります。私たちは今回の事態から学び、‘第2のマーズ’に対して早急に備えなくてはなりません。国会では‘感染症の予防及び管理に関する法律’の改正を通じて、指定感染症の種類を具体化し、国家と自治体の責務を強化しました。医療業界からはマーズとの戦いのすべてを記した白書が刊行され、二度と同じ過ちを繰り返さないようにと呼びかけています。

グローバル化が進む昨今、感染症は対岸の火事ではありません。今回のような韓国における感染拡大に関する情報が世界中で共有され、万全の対策が取られることを願ってやみません。

筆者紹介

柳鍾宇 (ユ ジョンウ)

GIP Korea代表弁理士。ソウル大学電気工学部を卒業。2009年弁理士登録。弁理士になる前は(株)LGディスプレイで設備購買及び技術営業の日本担当を務める。前職の特許事務所では、最初は(株)サムスンの特許明細書作成／中間処理／外国出願などを行い、後に日本企業の韓国出願を担当。趣味はゴルフ。